

世のため！人のため！

～焼き続けるたい焼き屋さん～

まめなけ新聞

第19号

平成31年
2月1日

皆さんは知っていますか？冬の間、Aコープの横であわせな香りを漂わせているたい焼き屋さん“遊友”を。町民Xが店主の寺島さんにインタビューしてみました。

Q・いつからたい焼き屋さんをされているのですか？

A・21歳からだから26年やってるよ！

Q・なぜ、たい焼きとたこ焼きなのですか？

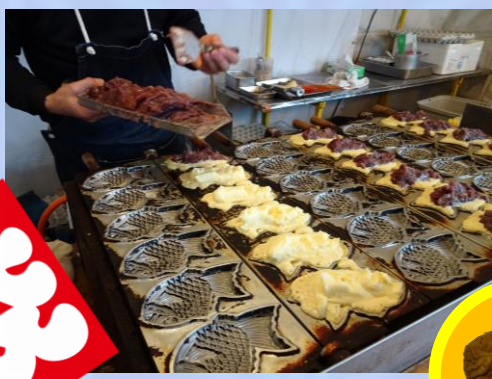
A・学校を卒業してすぐ会社勤めをしていたんだけど土日が暇だね。たい焼きとたこ焼き屋でアルバイトをしたんだよ。そこで技術を覚えてね。

Q・なぜ冬の間だけなのですか？

A・暑いとあんこ物は売れないからね、夏は森林組合で働いてるよ。

Q・なぜ森林組合に入ったのですか？

A・家族を養うため、アルコープ代を稼ぐためかな。当時は森林組合が一番給料が良かったんだよ。



Q・こだわりは何ですか？

A・大入りのあんこやかスタード、あと焼きたてにこだわっているよ。

Q・1個130円でそんなに中身を入れて大丈夫ですか？

A・人件費がかかってないから大丈夫だよ。ギリギリだけどね。

Q・購入したお客様からあんこことカスタードを半々にしてほしいとの要望がありますか？

A・暇な時なら出来ますよ！現にお得意様には作ってるよ！

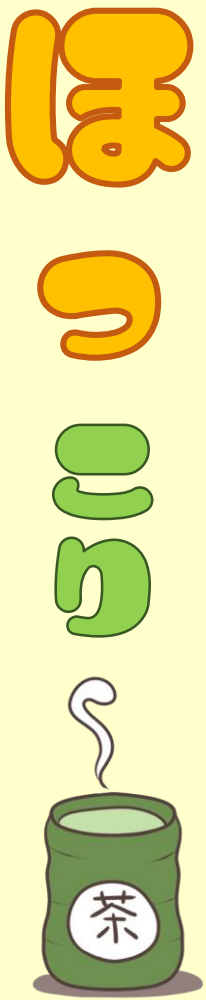
Q・朝日町にはいつ来ていますか？

A・朝日町は(月)と(火)にAコープの横で、(木)・(金)・(土)・(日)は隔週で黒部市のメルシーと生地のオレンシタウンにいるよ。よろしくね。

Q・最後に、モットーは何ですか？

A・世のため、人のため、お客様を笑顔にするため。かな。

と言うことで、店主の寺島さんは、夏は森林組合朝日支所で森を、冬はたい焼き屋さんで朝日町民のお腹を守ってくれていました。



泊のまちなかにとても

ディーブな場所がある。移住してきた時からずっと気になっていた場所。町には人けがないのにその場所だけはいつも賑わっているよ
うな雰囲気がある。賑やかな声ができるわけではない。半分下がったシャツターの向こう側に椅子に座ったたくさんの人の足が見えるだけ。気になる・・・入ってみたい・・・でも一人で潜入するのはなんか怖い。



この場所には何体もの招き猫が！昔お店だったとか！！??

そうだ！強い味方を連れて行こう！同じ協力隊員のH隊員。彼女はスーパー

空気が読む人間！どんな試練が待ち受けていても彼女がいれば乗り切れる！さっそく彼女に電話して経緯を話し同行してもらおう。二人でドキドキ・・・

「こんにちは！ごめんください！私たち・・・」名乗る間もなくそこに集まっていた高齢の男女合わせて4人が私たちの名前を呼んだ。ドキッとすると。お知り合いか？いや、思い出せない。どうやらテレビや新聞で私たちのことをよく見てくださっているらしい。ありがたい。

聞くと、ここには家主の人柄に惹かれた町内の方や会社時代の後輩がいつも集まり、お漬物やお菓子を持ち寄りお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいるようだ。

6畳くらいのスペースに最大で10人もの人が集まるという。話題はもっぱら世間話、体の話、困っていること。あるご婦人は最近、このメンバーである、長く民生委員をやっていた男性Nさんに家のドアノブを直してもらったらドアノブを直してもらったらしい。Nさんに頼むと女性では出来ない力仕事を一手に引き受けてくれるという。スゴイ。まさに助け合い。しかし圧倒的に男性が少ないので依頼が集中する。Nさんは「主婦と未亡人に殺される！」と笑顔で悲鳴を上げていた。

「関わらなくても歓迎ありです。突然の訪問にも関わらず、私たちが快く迎えてくださりありがとうございました。」



【編集後記】

このコミュニティの中で繰り広げられてる様子を見てみると、私たちが目指す“関係人口の拡大”はここにヒントがあるのかもしれない。

下ばあちゃんの梅干し

近所のばあちゃんがくれる梅干しが超うまいっ！昔ながらのしょっぱい梅干し、それでいてとてもまろやかで芳醇な香り。よだれが出ます。この梅干しの隠し味ははちみつだとこっそり教えてくれました。
町内の皆さん、美味しい食べ物があったら協力隊にご一報ください♪



【募集】

『まめなけ新聞』では読者の方々の投稿・原稿を募集します。朝日町のディーブな話、意外に、面白いお話大歓迎です！掲載は選考させていただきます。あらかじめご了承ください。

★発行・問い合わせ★

地域おこし協力隊

0765-183-11100